

# 環境・社会への取り組み

## [ 環境 ]

### エネルギー／温暖化

開発設計と生産・物流の両側面からCO<sub>2</sub>低減の取り組みを進めるとともに、交通流改善や植林など総合的な取り組みを推進。

- ・ハイブリッド車累計販売台数100万台突破(2007年5月末)
- ・固定発生源からのCO<sub>2</sub>排出量の目標を達成
- ・モーダルシフトの本格利用、総走行距離の低減等により、物流分野におけるCO<sub>2</sub>排出量の目標を達成

### 資源循環

資源生産性を念頭に、資源有効利用の推進、水使用量の低減、リサイクル設計の取り組みを推進。

- ・社外排出物低減を目標化
- ・国内外自動車リサイクル法に対応し、フロン類、エアバッグ類、ASR\*のリサイクル等の着実な実施
- ・ASRリサイクル技術の一層の高度化に向け、ASR中樹脂の分別技術等の実証実験を開始

\* ASR: 自動車シュレッダーダスト

### 環境負荷物質

「車両に対し確実な対応」を基本方針に、製品、生産の両面から全社システムでの管理やグローバルな活動を展開。

- ・環境負荷4物質全廃車(レクサスLS460、カローラ)を導入
- ・PRTR\*対象物質排出量の目標を達成

\* PRTR: 環境汚染物質排出・移動登録

### 大気環境

排出ガス低減とVOC\*排出量低減を取組項目に挙げ、製品は低エミッション技術の開発、各国の状況に応じた低排出ガス車を導入。また、生産は塗料の水性化を推進。

- ・超一低排出ガスレベル(平成17年基準排出ガス50%および75%低減レベル)の適合車を97.7%に拡大
- ・水性塗料導入を全工場で完了し、全ボディ塗装ラインのVOC排出量の平均値は27g/m<sup>2</sup>

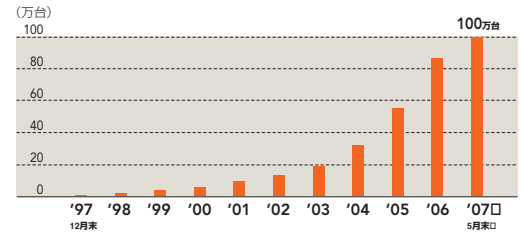
\* VOC: 揮発性有機化合物

### 環境経営

第4次「トヨタ環境取組プラン」初年度に当たり、プランに沿って着実に取り組みを始め、確実に進捗。

- ・2007年3月、中国環境委員会がスタートし、5地域環境委員会体制に
- ・エコ・ファクトリー活動継続
- ・第1回グローバル環境表彰実施

ハイブリッド車累計販売台数(全世界)



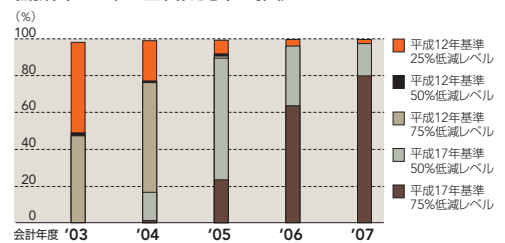
特定3物質の再資源化等の実績(2007年3月期)

	実績		実績
ASR引取台数	957千台	払い渡しを受けた預託金	8,092百万円
エアバッグ引取台数	186千台		
フロン引取台数	713千台	再資源化等に要した費用	8,434百万円
再資源化率	ASR 66%		
	エアバッグ 94%	収支	△342百万円



カローラアクシオ

低排出ガス車生産台数比率の推移



注: 会計年度は3月31日に終了した各年度を示します。

グローバルな環境経営の推進体制



## [ 社会 ]

### お客様とのかかわり

モノづくりの原点である「改善活動」を基本に、開発、調達・生産、販売に至るオールトヨタの取り組みの中でお客様満足度向上を追求。

- 「お客様第一主義」の原点である品質追求のため、オールトヨタ「CF活動」推進継続
- トヨタユニバーサルデザインの一つとして「ポルテフレンドマチック車 ウェルドライブ」発売

### 従業員とのかかわり

「労使相互信頼・長期安定」「コミュニケーション」を基盤に、従業員一人ひとりが職場力向上に向けた取り組みを推進。

- 職場コミュニケーションの円滑さを点検する「8万人職場コミュニケーション総点検活動」を実施
- R&Dラーニングセンターの開設
- BRキャリア・ライフデザイン室を新設し、女性の自立的なキャリア形成と能力を活かせる職場づくりを促進

### ビジネスパートナーとのかかわり

取引先をビジネスパートナーとして尊重し、強い連携のもと、国際社会の持続可能な発展に貢献できるビジネスを展開。

- CSRを議題に含む「グローバル仕入先総会」開催
- 全国の販売店経営者を対象に弁護士による講演会を含む「CSR説明会」を開催

### 地域社会・グローバル社会（安全への取り組み）

人を中心に、より安全なクルマを開発し、社会との協調を図る「安全基本理念」のもと総合的なアプローチを推進。

- 先進の予防安全およびプリクラッシュセーフティ技術をLS460、カローラアクシオに採用
- 国土交通省の「歩行者頭部保護性能試験」でエスティマがレベル5（最高位）獲得

### 地域社会・グローバル社会（社会貢献）

「社会から信頼される良きグローバル企業市民」を目指し、豊かな社会づくりとその持続的発展のため国内外で社会貢献活動を推進。

- NPOとともに6年計画で2,500haの植林を完了。北京近郊の砂漠化防止に貢献。
- 「トヨタ技術会」のメンバーが講師を務める「小学生向け科学工作教室」を全国各地の科学館・博物館で開催

### 地域社会・グローバル社会（コミュニケーション）

多くの文化施設を基点に、ビジョン、企業活動を広く紹介。「トヨタグローバルサイト」をリニューアルし、情報発信を充実。

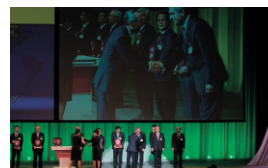
- 「トヨタのCSR・環境」をテーマに、第6回トヨタ・ステークホルダー・ダイアログ実施



プリウスラインのインライン計測センサーゲート

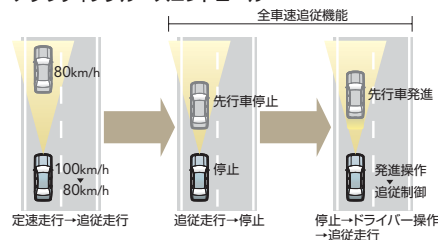


設計者の役割、責任を再確認する「設計者の心得」講座



「グローバル仕入先総会」におけるサプライヤー表彰

#### アダプティブクルーズコントロール



「空力ボディ」レクチャーで空気抵抗について学ぶ子どもたち



第6回トヨタ・ステークホルダー・ダイアログ